

表5 歯科医師・歯科衛生士の配置 (施設数(%))

		歯科衛生士の配置	
		あり	なし
歯科医師の配置	あり	142(16.8%)	49(5.8%)
	なし	72(8.5%)	584(68.9%)

回答施設数 847

表6 歯科医師による定期的な歯科検診の実施状況

検診を受ける機会	施設数	(%)
あり	531	62.7
定期年1回	64	7.6
年2回	19	2.2
年3回以上	49	5.8
不定期 年1回以上	31	3.7
不定期 上記以外	368	43.4
なし	316	37.3

回答施設数 847

表7 歯科医師・歯科衛生士による歯磨きや歯科保健指導の実施状況

歯磨きや歯科保健指導を受ける機会	施設数	(%)
あり	606	71.5
定期年1回	55	6.5
年2回	19	2.2
年3回以上	87	10.3
不定期 年1回以上	38	4.5
不定期 上記以外	407	48.1
なし	241	28.5

回答施設数 847

表8 歯科医師・歯科衛生士による歯磨きや歯科保健指導以外の
歯科疾患予防の実施状況

実施項目	実施施設数	(%)
している	765	90.3
食後の歯磨き時間をとっている	708	83.6
職員が歯磨きの状態をチェックしている	546	64.5
職員が入所者の方の歯磨きをしている	702	82.9
定期的に洗剤を用いて入れ歯を洗浄している	722	85.2
職員への歯科保健に関する研修会の開催	325	38.4
回答施設数		847

表9 入所者に歯科治療の必要が生じたときの対応

実施項目	実施施設数	(%)
している	847	100.0
職員が近隣の歯科医院へ連れて行く	182	21.5
近隣の歯科医院に往診を依頼する	583	68.8
施設内（併設の）歯科で治療	189	22.3
家族または本人に受診を勧めるのみ	218	25.7
回答施設数		847

表10 入所者の歯・口に関して問題を感じる程度

	施設数	(%)
大変にある	184	21.9
ややある	489	58.1
あまりない	147	17.5
まったくない	5	0.6
その他	16	1.9
回答施設数		841

表 11 歯科保健活動が入所者のニーズを満たしているか

	施設数	(%)
十分満たしている	44	5.2
ある程度満たしている	541	64.3
やや不足している	200	23.8
まったく不足している	43	5.1
特に必要性を感じない	9	1.1
その他	4	0.5

回答施設数 841

表 12 歯科医師・歯科衛生士の配置と施設の定員規模 (施設数)

		施設の定員規模				χ^2 検定
		～49人	50～99人	100～149人	150人～	
歯科医師の配置	あり	3	82	91	15	N.S.
	なし	16	298	308	30	
歯科衛生士の配置	あり	2	83	116	13	p<0.05
	なし	17	297	283	32	

χ^2 検定の結果

回答施設数 843

表 13 歯科医師・歯科衛生士の配置と施設の平均要介護度 (施設数)

		施設の平均要介護度				χ^2 検定
		～3.00	3.01～3.50	3.51～4.00	4.01～	
歯科医師の配置	あり	39	88	40	17	p<0.05
	なし	129	346	133	20	
歯科衛生士の配置	あり	35	112	50	9	N.S.
	なし	133	322	123	28	

回答施設数 812

表 14 施設の定員規模と平均要介護度 (施設数)

	施設の平均要介護度				χ^2 検定
	～3.00	3.01～3.50	3.51～4.00	4.01～	
50人未満	3	6	4	6	p<0.01
50人以上100人未満	80	185	76	24	
100人以上150人未満	75	217	85	5	
150人以上	9	25	8	2	

回答施設数 810

表 15 歯科医師の配置と定期的な歯科検診 (施設数)

		定期的な歯科検診の実施		χ^2 検定
		あり	なし	
歯科医師の配置	あり	54	137	p<0.01
	なし	109	547	
回答施設数 847				

表 16 歯科衛生士の配置と職員による歯磨きチェック (施設数)

		職員による歯磨きチェックの実施		χ^2 検定
		あり	なし	
歯科衛生士の配置	あり	160	54	p<0.01
	なし	386	247	
回答施設数 847				

表 17 職員への歯科保健に関する研修会と施設の定員規模 (施設数)

		施設の定員規模				χ^2 検定
		～49人	50～99人	100～149人	150人～	
歯科保健研修会	あり	1	131	167	25	p<0.01
	なし	18	249	232	20	
回答施設数 843						

表 18 歯科医師の配置と職員への歯科保健に関する研修会 (施設数)

		歯科保健に関する研修会の実施		χ^2 検定
		あり	なし	
歯科医師の配置	あり	91	100	p<0.01
	なし	234	422	
回答施設数 847				

表 19 歯科衛生士の配置と職員への歯科保健に関する研修会 (施設数)

		歯科保健に関する研修会の実施		χ^2 検定
		あり	なし	
歯科衛生士の配置	あり	118	96	p<0.01
	なし	207	426	
回答施設数 847				

入所高齢者の歯科口腔保健状況に関するアンケート

(高齢者施設用)

《ご記入に当たってのお願い》

- ◆ このアンケートの質問は全部で3ページございます。
- ◆ ご記入頂いた内容は統計的な集計解析以外には使用いたしません。
個別機関の記載内容について使用・公表することは致しません。
- ◆ 回答は1から順番にお願いいたします。
(選択した回答肢によって、指示が記載されている場合はそれに従って下さい。)
- ◆ 回答の際には、質問をよく読み、指示に従ってお答えください。
- ◆ 回答項目が用意されている設問では、あてはまる回答項目の番号 (a, b, c…) を
○印で囲んでください。
- ◆ 回答項目が用意されている設問で、その回答肢に『 () 』が設けられている場合は
ご面倒でも○印をつけたうえで、その内容を () 内になるべく具体的にご記入
ください。
- ◆ 回答項目が用意されていない場合には、 (空欄) 内にできるだけ具体的な文章や
数字をご記入ください。

《締め切りについて》

- ◆ ご多用のところ恐縮ですが、3月16日(金)までに、同封の封筒にて御投函頂きます
ようお願い申し上げます。

《お問い合わせ先》

- ◆ このアンケートに関するお問い合わせについては、下記宛までお願いいたします。

国立保健医療科学院 統括研究官 三浦 宏子

1. 貴施設の入所者の方の状況についてお伺い致します。

1-1. 貴施設の入所者定員は何人ですか。 人

1-2. 現時点での入所者の構成についてお答えください。

年齢区分	要介護1・2	要介護3	要介護4	要介護5
75歳未満	人	人	人	人
75～84歳	人	人	人	人
85歳以上	人	人	人	人

2. 貴施設での歯科保健管理および歯科医療の状況についてお伺い致します。

2-1. 貴施設には職員（常勤または非常勤）、嘱託として歯科医師・歯科衛生士が配置されていますか？

a. いる → ☆ b. いない

☆ 質問2-1で「a. いる」と回答された方にお伺い致します。

2-1補①. 配置されている職種および雇用形態について、該当するものをすべて○で囲んで下さい。

a. 歯科医師 → 雇用形態：（常勤・非常勤・嘱託）

b. 歯科衛生士 → 雇用形態：（常勤・非常勤・嘱託）

2-2. 貴施設で入所者の方が歯科医師による歯科健診を受ける機会がありますか？

a. ある → ☆ b. 全くない

☆ 質問2-2で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-2補. 歯科健診の頻度について該当するものを1つに○をつけて下さい

a. 年1回 b. 年2回 c. 年3回以上 d. 不定期（平均すると___年に1回）

e. その他（具体的に：_____）

2-3. 貴施設で入所者の方が、歯科医師または歯科衛生士から歯の磨き方や歯科保健に関する指導を受ける機会がありますか？

a. ある → ☆ b. 全くない

☆ 質問2-3で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-3補. その頻度について該当するものを1つに○をつけて下さい。

- a. 年1回 b. 年2回 c. 年3回以上 d. 不定期（平均すると___年に1回）
e. その他（具体的に：_____）

2-4. 歯科健診、歯科医師等による歯磨き・歯科保健指導以外に、入所者の方のむし歯や歯周病の予防のために、なにか取り組みをされていますか？

- a. している → ☆ b. していない

☆ 質問2-4で「a. している」と回答された方にお伺い致します。

2-4補. 実施している取り組みの内容で、あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- a. 食後歯磨きの時間をとっている b. 職員が歯磨きの状態をチェックしている
c. 職員が入所者の方の歯磨きをしている d. 定期的に洗浄剤を用い入れ歯を洗浄している
e. 職員への歯科保健に関する研修会の開催
f. その他（具体的に：_____）

2-5. 貴施設で入所者の方が、むし歯などの歯科治療が必要となったとき、どのような対応をされていますか？
あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

- a. 職員が近隣の歯科医院へ連れて行く b. 近隣の歯科医院に往診を依頼する
c. 施設内（または併設）の歯科で治療 d. 家族または本人に受診を勧めるのみ
e. 特に対応したことはない
f. その他（具体的に：_____）

2-6. 貴施設の入所者の方の歯や口のことに関して、問題を感じることはどの程度ありますか？
あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- a. 大変ある b. ややある c. あまりない d. まったくない
e. その他（具体的に：_____）

2-7. 貴施設での歯科保健活動は入所者の方のニーズを満たしていると思いますか？
あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- a. 十分満たしている b. ある程度満たしている
c. やや不足している → ☆ d. まったく不足している → ☆
e. 特に必要性を感じない
f. その他（具体的に：_____）

☆ 質問2-7で「c. やや不足している」または「d. まったく不足している」と回答された方にお伺い致します。

2-7補. 不足していると考えられる点はどのような事でしょうか？できるだけ具体的にご記入下さい。

3. 最後に貴施設の併設施設の有無ある場合は種別についてお伺い致します。

a. ある → ☆ b. ない

☆ 質問3で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

3補①. その施設の種別を具体的にお書き下さい。

具体的に： _____

3補②. その施設に歯科はありますか

a. ある b. ない

【お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。】

記入もれがないかご確認のうえ、同封の封筒にてご返送ください。

障害（児）者福祉入所施設における歯科口腔保健状況に関する研究

研究分担者 大内 章嗣（新潟大学大学院医歯学総合研究科）

研究要旨： 障害（児）者福祉入所施設における定期的な歯科検診および歯科保健指導等の状況を把握するために、全国の障害（児）者福祉入所施設 2,539 施設を対象に郵送自記式によるアンケート調査を行った。1,604 施設から調査票を回収（回収率 63.2%）し、うち、記載内容に漏れが無い 1,552 施設分（有効回答率 61.1%）を分析対象とした。アンケート調査の分析結果から以下の結論を得た。

- 1) 施設に歯科専門職が配置されている施設は 317 施設（20.4%）であった。
- 2) 入所者に対する歯科検診の機会が「ある」と回答したのは 1,552 施設中 1,334 施設（86.0%）で、このうち年 1 回以上の定期的な歯科検診を受ける機会があると回答した施設は 1,039 施設で全体の 66.9%を占めた。
- 3.) 入所者が歯科専門職から歯磨き等の歯科保健指導を受ける機会が「ある」と回答したのは 1,552 施設中 1,297 施設（83.6%）で、このうち年 1 回以上、定期的に歯科保健指導を受ける機会があると回答した施設は 704 施設で全体の 45.4%であった。
- 4) 入所者に歯科治療の必要が必要となった場合、すべての施設で何らかの方法による対応経験があり、その際の対応としては「職員が近隣の歯科医院へ連れて行く」が最も多かった。
- 5) 入所者の食事介助に関して問題が「大変ある」、「ややある」と回答した施設はそれぞれ、351 施設（22.6%）、835 施設（53.8%）であり、両者をあわせて 76.4%に達した。
- 6) 入所者に対する摂食機能訓練を実施している回答した施設は 846 施設（54.5%）で、その内容（複数回答）で多かったのは、「食内容（食形態・物性など）の指導」、「食環境（姿勢や食具など）の指導」であった。

一方、「必要性は感じるが実施していない」と回答した施設が 503 施設（32.4%）あり、これらの施設が実施できない理由として挙げたのは、「実施できる人材（専門職）がない」が最も多かった。

A. 研究目的

知的障害や精神障害をはじめとした障害（児）者では、歯科治療等の受診に制約があったり、口腔衛生管理が不十分になりやすい等の理由から、う蝕の多発など歯科口腔保健状況に問題を抱える者が多いことが指摘されている。

こうした背景もあり、平成 23 年 8 月に制定された歯科口腔保健の推進に関する法律では、法第 9 条において、障害者等の歯科検診または歯科医療を受けることが困難な者に対して、定期的な歯科検診や歯科医療を受けることが出来

るようにするための施策の実施を国および地方公共団体に義務づけている。

一方で、障害（児）者の口腔状況や障害（児）者福祉施設における歯科保健活動等の実態は、特定地域や特定施設の利用者等に限定されたデータが散見されるのみで、全国的な実態は明らかにされていない。

このため、全国の障害（児）者福祉入所施設を対象に、入所者の定期的な歯科健診受診機会および歯科保健指導等の状況を把握することを目的にアンケート調査を実施した。

B. 研究方法

調査対象施設は、独立行政法人福祉医療機構が運営する WAM NET の障害福祉サービス事業者情報を用いて、身体・知的・児童・精神障害（児）者を対象とした入所施設を抽出することにより選定した。具体的には、同 Web ページにおいて、施設所在都道府県別に「主たる対象者」は全てを選択し、「サービスの種別」としては「施設入所支援」および「旧法指定施設（入所）」の「更生施設」、「療護施設」、「授産施設」を選択した。なお、都道府県別で施設が収載されていなかった秋田県、新潟県、山梨県の三県については別途「社会福祉士施設等名簿」を入手し、該当施設を対象に加えた。

以上により、別添 1 に示す郵送自記式によるアンケート票を発送した。アンケート票は平成 24 年 2 月末に送付し、記入後、同年 3 月 16 日を期限として同封の封筒による返送を依頼した。

なお、対象施設をリスト化した時点で得られた施設種別にみた発送数を表 1 に示す。なお、これらの施設種別はリストに使用したデータ登録時点のものであり、アンケート調査実施時の施設種別とは必ずしも一致していないと考えられる。

（倫理面での配慮）

本研究では、施設における歯科検診等の実施状況などの施設単位のデータを対象としており、個人情報扱っていない。アンケート票も無記名によるものとなっており、分析結果も統計的な処理によるもののみとなっている。なお、研究計画書等を新潟大学歯学部倫理審査委員会に提出し、審査委員会への付議不要の決定を受けている。

C. 研究結果

1. 回収率・有効回答率

リスト化された 2,539 施設に対し、アンケート票を送付し、1,604 施設からアンケート票を回収（回収率 63.2%）した。このうち、記載内

容に漏れが無い 1,552 施設分（有効回答率 61.1%）を分析対象とした。

2. 施設および入所者の概要

1) 入所定員

入所定員は、最低 9 人、最高 600 人で、平均入所定員は 58.5 ± 33.8 人であった。

入所定員規模別でみると、50 人未満が 494 施設（31.8%）、50 人以上 100 人未満が 934 施設（60.2%）、100 人以上 150 人未満が 102 施設（6.6%）、150 人以上は 22 施設（1.4%）であった（表 2）。入所定員 50 人の施設が 404 施設あり、全体の 26.0% を占めていた。

2) 入所定員に対する充足率

入所者数の最低は 8 人、最高が 453 人で、平均入所者数 57.2 ± 29.8 人であった。

入所定員に対する充足率では、最低が 23%、最高が 143% であった。充足率 100% の施設が 915 施設（59.0%）と約 6 割をしめており、その他は 60% 未満が 15 施設（1.0%）、60% 以上 100% 未満が 344 施設（22.2%）、101% 以上 120% 未満が 241 施設（15.5%）、120% 以上 9 施設（0.6%）であった（表 3）。

3) 入所者の障害種別・年齢構成

入所者の総数は 88,711 人で、その障害種別内訳は知的障害 61,212 人（69.0%）、身体障害 24,666 人（27.8%）、精神障害 1,922 人（2.2%）、その他 911 人（1.0%）であった。

入所者の障害種別・年齢構成を表 4 に示す。

3. 歯科専門職種の配置状況

施設に歯科専門職（歯科医師ないしは歯科衛生士）が配置されていると回答した施設は 317 施設（20.4%）であった。

このうち、歯科医師のみの配置があると回答した施設が 176 施設（11.3%）ともっとも多く、次いで歯科医師・歯科衛生士双方の配置があると回答した施設が 125 施設（8.1%）で、歯科

衛生士のみ配置があるとした施設が 16 施設 (1.0%) であった (表 5)。

配置されている職種・雇用形態で最も多かったのは歯科医師の嘱託で 255 施設であった (表 6)。常勤の歯科専門職が配置されているのは歯科医師で 19 施設、歯科衛生士で 40 施設にとどまった。

4. 歯科医師による歯科検診を受ける機会

歯科医師による歯科検診を受ける機会の状況について表 7 に示す。

入所者に対する歯科検診の機会が「ある」と回答したのは 1,552 施設中 1,334 施設 (86.0%) で、機会が「全く無い」と回答したのは 218 施設 (14.0%) であった。

「年 1 回」から「年 3 回以上」の定期的な歯科検診を受ける機会があると回答した施設は 1,039 施設で全体の 66.9% を占めた。

「その他」と回答した 200 施設 (全体の 12.9%) についても、その内容を見るとほとんどの施設が、入所者の歯科治療を目的とした歯科医師による往診または歯科医療機関への通院機会を有しており、「必要に応じて」あるいは入所者等の「希望により」歯科検診を受けることが出来ると回答していた。

5. 歯科専門職による歯科保健指導を受ける機会

歯科専門職による歯磨き指導などの歯科保健指導を受ける機会の状況を表 8 に示す。

入所者が歯科専門職から歯磨き等の歯科保健指導を受ける機会が「ある」と回答したのは 1,552 施設中 1,297 施設 (83.6%) で、その機会が「全く無い」と回答したのは 255 施設 (16.4%) であった。

「年 1 回」から「年 3 回以上」、定期的に歯科保健指導を受ける機会があると回答した施設は 704 施設で全体の 45.4% であった。

6. 歯科検診・歯科保健指導以外の歯科疾患予

防活動の状況

歯科検診・歯科保健指導以外の歯科疾患予防活動の状況を表 9 に示す。

歯科検診・歯科保健指導以外になんらかの歯科疾患の予防活動を実施していると回答した施設は 1,288 施設 (83.0%) であった。

実施内容 (複数回答) で最も多かったのは、「食後の歯磨きの時間を取っている」1,132 施設 (72.9%)、ついで、「職員が歯磨き状態のチェックしている」1,038 施設 (66.9%) であった。

「職員への歯科保健に関する研修会」を開催している施設は 336 施設 (21.6%) であり、定期的な「フッ化物洗口」や「フッ化物塗布」を行っている施設は、それぞれ 26 施設 (1.7%)、91 施設 (5.9%) とわずかであった。

7. 歯科治療が必要となった場合の対応状況

入所者に歯科治療の必要が生じたときの対応状況について表 10 に示す。

入所者に歯科治療が必要になった場合、すべての施設で何らかの方法で対応していた。

その対応内容 (複数回答) としては「職員が近隣の歯科医院へ連れて行く」が最も多く、1,229 施設 (79.2%) であった。「近隣の歯科医院へ往診を依頼する」と回答した施設は 255 施設 (16.4%) で、「施設内あるいは併設の歯科で治療」は 195 施設 (12.6%) であった。一方、「家族または本人に受診を勧めるのみ」と回答した施設は 129 施設 (8.3%) にとどまり、施設側が主体的に対応している状況があきらかになった。

8. 入所者の歯や口腔の問題に対する認識

入所者の歯や口腔に関して問題を感じる程度の状況を表 10 に示す。

「大変ある」と回答した施設が 536 施設 (34.5%)、「ややある」と回答した施設が 803 施設 (51.7%) で、両者をあわせて 86.2% の施設が入所者の歯や口腔に関してなんらかの問題

を認識していることが明らかになった。

一方、「あまりない」、「まったくない」と回答した施設はそれぞれ、173 施設 (11.1%)、7 施設 (0.5%) で、両者を併せて 11.6%にとどまった。

9. 施設での歯科保健活動のニーズ充足度

施設における歯科保健活動が、入所者のニーズをどの程度満たしているかについての回答状況を表 1 2 に示す。

「十分満たしている」と回答した施設は 90 施設 (5.8%) にとどまり、「ある程度満たしている」と回答した施設が最も多く 978 施設 (63.0%) であった。

一方、「やや不足している」と回答した施設が 351 施設 (22.6%)、「まったく不足している」が 110 施設 (7.1%) であった。

「特に必要性を感じない」と回答した施設は 12 施設 (0.8%) にすぎなかった。

10. 入所者の食事介助に関する問題認識

入所者の食事介助に関する問題認識の状況を表 1 3 に示す。

食事介助に関して問題が「大変ある」、「ややある」と回答した施設はそれぞれ、351 施設 (22.6%)、835 施設 (53.8%) であり、両者をあわせて 76.4%に達した。

一方、問題が「あまりない」と回答した施設は 251 施設 (16.2%) であり、その他、「食事介助が必要な者がいない」、「食事を提供していない」と回答した施設がそれぞれ、91 施設 (5.9%)、1 施設 (0.1%) であった。

11. 摂食機能訓練の実施状況

摂食・嚥下障害を有する入所者に対する摂食機能訓練の実施状況を表 1 4 に示す。

摂食機能訓練を実施していると回答した施設は 846 施設 (54.5%) であった。

実施内容 (複数回答) で最も多かったのは、「食内容 (食形態・物性など) の指導」で 775

施設 (49.9%)、ついで、「食環境 (姿勢や食具など) の指導」で 707 施設 (45.6%) であった。

「間接機能訓練 (嚥下体操など)」や「直接機能訓練 (食品を使った訓練)」を実施している施設はそれぞれ、325 施設 (20.9%)、107 施設 (6.9%) であった。

一方、「必要性は感じるが実施していない」と回答した施設が 503 施設 (32.4%) あった。

これらの施設に実施できない理由を聞いたところ、「実施できる人材 (専門職) がいない」を挙げた施設が 392 施設と最も多く、ついで、「評価や実施方法など知識・技術が不足している」が 382 施設であり、専門職の確保や専門知識・技術の不足が施設での摂食機能訓練実施の障害となっていることが示された。

「必要性を感じないので実施していない」と回答した施設は 150 施設 (9.7%) にとどまった。

D. 考察

今回、全国の障害 (児) 者福祉入所施設を対象に、入所者の定期的な歯科健診受診機会および歯科保健指導等の状況に関するアンケート調査を実施した。

対象施設の選択にあたっては、時間的な制約等から、主に独立行政法人福祉医療機構が運営する WAM NET の障害福祉サービス事業者情報を用いて調査対象施設のリストアップを行った。入所者の障害種別・年齢構成等をみると、若干選択バイアスがかかっている可能性があるが、全国 2,539 施設を対象とし、回収率、有効回答率ともにこの種のアンケート調査としては高率を確保していることから、障害 (児) 者福祉入所施設全体としての歯科検診等の状況は、ある程度実態を反映したデータとなっているものと考えられる。

今回の調査結果から、歯科医師による歯科検診の機会があると回答した施設が 86.0%をしめたように、障害者 (児) 福祉入所施設においては、ほぼすべての施設でなんらかの形で歯科医療機関や歯科専門職との繋がりが確保されて

いる状況が明らかになった。

また、歯科検診・歯科保健指導以外になんらかの歯科疾患の予防活動を実施していると回答した施設が83.0%をしめるなど、施設側の歯科口腔保健に対する関心・認識も総じて高い状況が推察される。

その一方で、施設での歯科保健活動のニーズ充足度をみると、「やや不足している」あるいは「まったく不足している」と回答した施設が約3割を占めるなど、高い関心・認識を有するだけに問題点を認識している割合も高くなっているものと考えられた。

こうした背景を有するだけに、行政や歯科専門職からの積極的かつ適切な支援が行われれば、障害者福祉施設における歯科保健活動は容易に促進されるものと考えられる。

E. 結論

1. 歯科専門職の配置状況

施設に歯科専門職が配置されている施設は317施設(20.4%)であった。このうち、歯科医師のみの配置があると回答した施設が176施設(11.3%)と最も多く、その雇用形態で最も多いのは嘱託であった。

2. 歯科医師による歯科検診を受ける機会

入所者に対する歯科検診の機会が「ある」と回答したのは1,552施設中1,334施設(86.0%)で、機会が「全く無い」と回答したのは218施設(14.0%)であった。年1回以上の定期的な歯科検診を受ける機会があると回答した施設は1,039施設で全体の66.9%を占めた。

3. 歯科専門職による歯科保健指導を受ける機会

およびが歯科専門職から歯磨き等の歯科保健指導を受ける機会が「ある」と回答したのは1,552施設中1,297施設(83.6%)で、その機会が「全く無い」と回答したのは255施設(16.4%)であった。年1回以上、定期的に歯

科保健指導を受ける機会があると回答した施設は704施設で全体の45.4%であった。

4. 歯科治療が必要となった場合の対応

入所者に歯科治療の必要が必要となった場合、すべての施設で何らかの方法による対応経験があり、その対応内容(複数回答)としては「職員が近隣の歯科医院へ連れて行く」が最も多く、1,229施設(79.2%)であった。

5. 入所者の歯や口腔の問題に対する認識

入所者の歯や口腔に関しての問題が「大変ある」あるいは「ややある」と回答した施設が1,339施設(86.2%)を占めた。

6. 施設での歯科保健活動のニーズ充足度

施設での歯科保健活動が入所者のニーズを満たしているかについては、「十分満たしている」と回答した施設が90施設(5.8%)にとどまる一方、「やや不足している」、「まったく不足している」と回答した施設が461施設(29.7%)をしめた。

7. 入所者の食事介助に関する問題認識

入所者の食事介助に関して問題が「大変ある」、「ややある」と回答した施設はそれぞれ、351施設(22.6%)、835施設(53.8%)であり、両者をあわせて76.4%に達した。

8. 摂食機能訓練の実施状況

入所者に対する摂食機能訓練を実施している回答した施設は846施設(54.5%)で、その内容(複数回答)で多かったのは、「食内容(食形態・物性など)の指導」、「食環境(姿勢や食具など)の指導」であった。

一方、「必要性は感じるが実施していない」と回答した施設が503施設(32.4%)あり、これらの施設が実施できない理由として挙げたのは、「実施できる人材(専門職)がいない」が最も多かった。

表1 施設種別にみた発送数

種 別	発送数
施設入所支援	1695
知的障害者入所更生施設	495
知的障害者授産施設	110
身体障害者入所療護施設	127
身体障害者入所更生施設	30
身体障害者入所授産施設	61
知的障害児施設	11
肢体不自由児施設	4
重症心身障害児施設	6
計	2539

表2 施設の入所定員

入所定員	施設数	構成割合
50人未満	494	31.8%
50人以上100人未満	934	60.2%
100人以上150人未満	102	6.6%
150人以上	22	1.4%
計	1552	100.0%

表3 入所定員の充足率

充足率	施設数	構成割合
60%未満	15	1.0%
60%以上80%未満	28	1.8%
80%以上100%未満	344	22.2%
100%	915	59.0%
101%以上120%未満	241	15.5%
120%以上	9	0.6%
計	1552	100.0%

表4 入所者の障害種別・年齢構成

	知的障害	身体障害	精神障害	その他	計
18歳未満	1178 (1.9%)	403 (1.6%)	18 (0.9%)	35 (3.8%)	1634 1.8%
18歳～64歳	52677 (86.1%)	18210 (73.8%)	1715 (89.2%)	719 (78.9%)	73321 82.7%
65歳以上	7357 (12.0%)	6053 (24.5%)	189 (9.8%)	157 (17.2%)	13756 15.5%
計	61212 69.0%	24666 27.8%	1922 2.2%	911 1.0%	88711 100.0%

()内の%は各障害種別における構成割合、他は入所者総数に対する構成割合

表5 歯科専門職の配置状況

		歯科衛生士の配置		計
		あり	なし	
歯科医師の配置	あり	125 8.1%	176 11.3%	301 19.4%
	なし	16 1.0%	1235 79.6%	1251 80.6%
計		141 9.1%	1411 90.9%	1552 100.0%

%は総数に対する割合

表6 歯科専門職の雇用形態(複数回答)

歯科医師			歯科衛生士		
常勤	非常勤	嘱託	常勤	非常勤	嘱託
19	33	255	40	29	78

表7 歯科医師による歯科検診を受ける機会の状況

	歯科検診機会あり						機会なし	総計
	年1回	年2回	年3回以上	不定期	その他	小計		
施設数	745	141	153	95	200	1334	218	1552
構成割合	48.0%	9.1%	9.9%	6.1%	12.9%	86.0%	14.0%	100.0%

1039施設(66.9%)

表8 歯科専門職による歯科保健指導を受ける機会の状況

	歯科保健指導機会あり						機会なし	総計
	年1回	年2回	年3回以上	不定期	その他	小計		
施設数	447	113	144	122	471	1297	255	1552
構成割合	28.8%	7.3%	9.3%	7.9%	30.3%	83.6%	16.4%	100.0%

704施設(45.4%)

表9 歯科検診・歯科保健指導以外の予防活動の状況

実施の有無とその内容	施設数	構成割合
している	1288	83.0%
食後の歯磨きの時間をとっている	1132	72.9%
職員が歯磨きの状態をチェックしている	1038	66.9%
定期的にフッ化物洗口をしている	26	1.7%
定期的にフッ化物塗布を受けさせている	91	5.9%
職員への歯科保健に関する研修会の開催	336	21.6%
その他	261	16.8%
していない	264	17.0%

構成割合はいずれも総数(n=1552)に対する割合、実施内容は複数回答

表10 歯科治療が必要となった場合の対応状況

対応の有無とその内容	施設数	構成割合
対応経験あり	1552	100.0%
職員が近隣の歯科医院へ連れて行く	1229	79.2%
近隣の歯科医院に往診を依頼する	255	16.4%
施設内(併設の)歯科で治療	195	12.6%
家族または本人に受診を勧めるのみ	129	8.3%
その他	426	27.4%
対応経験なし	0	0.0%

構成割合はいずれも総数(n=1552)に対する割合、対応内容は複数回答

表11 入所者の歯や口腔の問題に対する認識

	施設数	構成割合
大変ある	536	34.5%
ややある	803	51.7%
あまりない	173	11.1%
まったくない	7	0.5%
その他	33	2.1%
計	1552	100.0%

表12 施設の歯科保健活動のニーズ充足度

	施設数	構成割合
十分満たしている	90	5.8%
ある程度満たしている	978	63.0%
やや不足している	351	22.6%
まったく不足している	110	7.1%
特に必要性を感じない	12	0.8%
その他	11	0.7%
計	1552	100.0%

表13 入所者の食事介助に関する問題認識

	施設数	構成割合
大変ある	351	22.6%
ややある	835	53.8%
あまりない	251	16.2%
食事介助が必要な者がいない	91	5.9%
食事を提供していない	1	0.1%
その他	23	1.5%
計	1552	100.0%

表14 摂食機能訓練の実施状況

訓練の実施状況とその内容・理由	施設数	構成割合
実施している	846	54.5%
食環境(姿勢や食具など)の指導	707	45.6%
食内容(食形態・物性など)の指導	775	49.9%
間接機能訓練(嚥下体操など)	325	20.9%
直接機能訓練(食品を使った訓練)	107	6.9%
その他	107	6.9%
必要性を感じるが実施していない	503	32.4%
実施できる人材(専門職)がない	392	25.3%
評価や実施方法など知識・技術が不足している	382	24.6%
時間が確保できない	198	12.8%
実施するスペース・設備がない	54	3.5%
他の機関が実施すべきだから	2	0.1%
その他	58	3.7%
必要性を感じないので実施していない	150	9.7%
その他	53	3.4%
計	1552	100.0%

構成割合はいずれも総数(n=1552)に対する割合、実施内容等は複数回答

【別添1】

1. 貴施設の入所者の方の状況についてお伺い致します。

1-1 貴施設の入所者定員は何人ですか。 人

1-2 現時点での入所者の構成についてお答えください。

年齢区分	知的障害	身体障害	精神障害 (発達障害を含む)	その他
18歳未満	人	人	人	人
18～64歳	人	人	人	人
65歳以上	人	人	人	人

2. 貴施設での歯科保健管理および歯科医療の状況についてお伺い致します。

2-1 貴施設には職員(常勤または非常勤)、嘱託として歯科医師・歯科衛生士が配置されていますか？

a. いる→☆ b. いない

☆質問2-1で「a. いる」と回答された方にお伺い致します。

2-1補① 配置されている職種および雇用形態について、該当するものをすべて○で囲んで下さい。

a. 歯科医師→雇用形態:(常勤・非常勤・嘱託) b. 歯科衛生士→雇用形態:(常勤・非常勤・嘱託)

2-2 貴施設で入所者の方が歯科医師による歯科健診を受ける機会がありますか？

a. ある→☆ b. 全くない

☆質問2-2で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-2補 歯科健診の頻度について該当するものを1つ○で囲んで下さい。

a. 年1回 b. 年2回 c. 年3回以上 d. 不定期(平均すると__年に1回)
e. その他(具体的に:_____)

2-3. 貴施設で入所者の方が、歯科医師または歯科衛生士から歯の磨き方や歯科保健に関する指導を受ける機会がありますか？

- a. ある→☆ b. 全くない

☆質問2-3で「a. ある」と回答された方にお伺い致します。

2-2補. その頻度について該当するものを1つ○で囲んで下さい。

- a. 年1回 b. 年2回 c. 年3回以上 d. 不定期(平均すると__年に1回)
e. その他(具体的に: _____)

2-4. 歯科健診、歯科医師等による歯磨き・歯科保健指導以外に、入所者の方のむし歯や歯周病の予防のために、なにか取り組みをされていますか？

- a. している→☆ b. していない

☆質問2-4で「a. している」と回答された方にお伺い致します。

2-4補. 実施している取り組みの内容で、あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

- a. 食後歯磨きの時間をとっている b. 職員が歯磨きの状態をチェックしている
c. 定期的にフッ化物洗口をしている d. 定期的にフッ化物塗布を受けさせている
e. 職員への歯科保健に関する研修会の開催
f. その他(具体的に: _____)

2-5. 貴施設で入所者の方が、むし歯などの歯科治療が必要となったとき、どのような対応をされていますか？あてはまるもの全てに○をつけて下さい。

- a. 職員が近隣の歯科医院へ連れて行く b. 近隣の歯科医院に往診を依頼する
c. 施設内(または併設)の歯科で治療 d. 家族または本人に受診を勧めるのみ
e. 特に対応したことはない
f. その他(具体的に: _____)

2-6. 貴施設の入所者の方の歯や口のことにに関して、問題を感じることはどの程度ありますか？あてはまるもの 1つに○をつけて下さい。

- a. 大変ある b. ややある c. あまりない d. まったくない
e. その他(具体的に: _____)

2-7. 貴施設での歯科保健活動は入所者の方のニーズを満たしていると思いますか？あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- a. 十分満たしている
- b. ある程度満たしている
- c. やや不足している→☆
- d. まったく不足している→☆
- e. 特に必要性を感じない
- f. その他(具体的に: _____)

☆質問2-7で「c. やや不足している」または「d. まったく不足している」と回答された方にお伺い致します。

2-7補. 不足していると考えられる点はどのような事でしょうか？できるだけ具体的にご記入下さい。

3. 貴施設での食介助、食べる機能(摂食機能)の維持・向上に関する状況についてお伺い致します。

3-1. 貴施設の入所者の方の食事介助に関して、問題を感じることはどの程度ありますか？あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- a. 大変ある
- b. ややある
- c. あまりない
- d. 食事介助が必要な者がいない
- e. 食事を提供していない
- f. その他(具体的に: _____)

3-2. 貴施設では、食べたり・飲み込んだりすることに問題のある入所者の方に、食べる機能(摂食機能)の維持・向上を図るための指導・訓練を実施していますか？あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

- a. 実施している→☆
- b. 必要性は感じるが実施していない→☆
- c. 必要性を感じないので実施していない
- e. その他(具体的に: _____)